

令和6年度 内子高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	5単位	学年	3学年
教科書	詳説日本史探究(山川出版社)		副教材等	新詳日本史(浜島書店)			

1 学習の目標

- ・世界とその中の日本を広く相互的な視点から捉え、日本の歴史の基礎的知識を習得できる。
- ・歴史的事象を多面的・多角的に考察、議論し、その内容を表現する力を養う。
- ・課題について主体的に追及、解決する態度を持つとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第Ⅰ部 原始・古代	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化のあけぼの ・古墳とヤマト政権 ・律令国家の形成 ・貴族政治の展開 	中間考査
	第Ⅱ部 中世	<ul style="list-style-type: none"> ・院政と武士の躍進 ・武家政権の成立 ・武家社会の成長 	期末考査
第2学期	第Ⅲ部 近世	<ul style="list-style-type: none"> ・近世の幕開け ・幕藩体制の成立と展開 ・幕藩体制の動揺 	期末考査
	第Ⅳ部 近代・現代	<ul style="list-style-type: none"> ・近世から近代へ ・近代国家の成立 ・近代国家の展開 ・恐慌と第二次世界大戦 ・占領下の日本 ・高度経済成長 	
第3学期		<ul style="list-style-type: none"> ・激動する世界と日本 	

3 評価の規準

- 【知識・技能】**
日本史における歴史的事象について、地理的特徴や世界史的な観点も踏まえて理解している。
- 【思考・判断・表現】**
日本の歴史の変化に関わる事象の意味や特色などを多角的・多面的に考察、議論し、その内容を効果的に表現することができる。
- 【主体的に学習に取り組む態度】**
課題を主体的に追及、解決しようとする態度を持ち、深い考察や理解を通して我が国の歴史、他国の歴史や文化を尊重することができる。

4 評価方法

- 定期考査で内容が理解できているかを確認します。
サブノートやレポートを随時点検するとともに、授業態度を評価します。

5 学習のアドバイス

- ・授業では学習のポイントを明確にします。集中して授業に取り組んでください。分からないことはその場で担当教員に質問しましょう。
- ・「いつ」「どこで」「なぜ」というような「問い」を自分から発する姿勢を大切にしましょう。
- ・自主学習（年表の自作、ノートの再構築など）で一層の成果を得てください。